

# 新体制発足

2023年4月より、全国医療的ケアラインの役員体制が新しくなりました。宮副代表を補佐する副代表として、中川史さんに代わり、村尾晴美さん（広島県）の就任が3/11の総会で承認されました。任期は2024年3月末までの1年間です。

## <新副代表からのメッセージ>

今年度前任の中川さんより引き継ぎ、副代表となりました村尾晴美です。

27歳の長男は医療的ケアがある重症心身障害者です。息子は特別支援学校卒業後、重症心身障害者に特化した生活介護事業所に週5日通い元気に暮らしています。これまで息子と経験してきたことや、大人になってからの課題に取り組んでいることがアイラインのお役に立てればと思っています。

アイラインで繋がった全国の会員の皆さんと一緒に学び、考え、行動し、思いをしっかりとした形にして発信していく事で、どんなに重い障害があっても、子ども親もそれぞれが輝ける社会に繋がる事を願い、宮副代表をサポートし、皆さんとのコミュニケーションを大切に協力していきたいと思っています。

ご意見、ご相談、愚痴などなど…ありましたら遠慮なくお声がけください。どうぞよろしく願いいたします。



vol.12

p1

## 家族会の活動レポート① しこく以心伝心

今月から、各地で活発に活動する家族会からのレポートを掲載することになりました。第一弾は、四国からの報告です。

「ぜひ私たちの活動も紹介してほしい！」というご希望がありましたら、  
アイラインにメールをお送りください。⇒ [iline.zenkoku@gmail.com](mailto:iline.zenkoku@gmail.com)



<四国四県を一つに結ぼう！>

「すべての子どもたちの豊かな将来のために、各地域の課題を共有し、解決につながるヒントを見つけていきたい」「しこく以心伝心”は、そんな思いから活動を開始しました。

家族会「Ripple香川」と香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」が連携し、2022年3月、四国各地の関係者や行政担当者を招いて第1回の交流会の開催に漕ぎつけました。グループワークでは各家族会が「望む暮らし」について希望を語り合い、ご当地ならではの課題を「四国モデル」として考え、子どもたちの豊かな暮らしのために連携することを約束しました。

その後も「連携の進め方」や「医療的ケア児支援センターへの相談事例の検討」など、様々なテーマで意見交換を活発に行っています。身近な仲間が繋がることで、県域を越えて家族会同士が寄り添える機会となるだけでなく、現場で起こっている実情を共有し関係機関に伝える役割など、可能性が広がっていることを実感しています。

Ripple香川 事務局 英早苗



vol.12

p2

# アイライン活動記録

(2023年3月)



## ○ ZOOMミーティング

- (総会) 11日
- (役員) 5日、11日、29日
- (全国代表者連絡会) 3日
- (事務局) 8日
- (サークルリーダー) 1日

## ○ オンラインサークル活動

- (短期入所) 18日
- (フリーテーマ) 23日

## ○ 外部イベント参加

<宮副代表>

- ・在宅ケアアライアンス会議 オンライン参加 (10日)
- ・永田町こども未来会議 (30日)

## ○ その他

- ・家族会からの問合せ対応 など

## NEWS

アイラインの新しいサークル「野球部」が発足しました。遠隔操作での参加となるため、当面はパソコンを操作(視線入力やスイッチも可)できる人が対象です。入部希望の方は、各都道府県の窓口の方へご連絡ください。

